

## 主が備えられた器

(ルカ2・25〜38)

## 一、主イエスの父と母

きょうの範囲は2章25節からですが、前後関係を知った方が話が見えてまいりますので、少しさかのぼって22節を見てまいります。そして、モーセの律法による彼らのきよめの期間が満ちたとき、両親は幼子をエルサレムに連れて行った。とあります。ヨセフとマリアは律法の規定にしたがい、生まれてから四十日経って、幼子イエスを神殿に連れて行きました。何のために、でしょうか。23節に記されています。そして、主の律法に「最初に胎を開く男子はみな、主のために聖別された者と呼ばれる」と書いてあるとおり、幼子を主に献げるためであった。と。ヨセフとマリアは敬虔なユダヤ人でした。24節に「また、主の律法に「山鳩一つがい、あるいは家鳩のひな二羽」と言われていることにしたがって、いけにえを献げるためであった。」と書かれているからです。律法の規定どおり、山鳩か家鳩を購入して献げたのでありましょう。両親が山鳩か家鳩を献げたのは、彼らが貧しかったからです。ですが彼らは、毎年過越の祭りの度にエルサレムに行きました(ルカ2・41)。

## 二、預言者シメオン

さて、25節にシメオンという高齢のユダヤ人のことが書かれています。そして、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい、敬虔な人で、イスラエルが慰められるのを待ち望んでいた。また、聖霊が彼の上におられた。とあります。シメオンは預言者であったと思われる。彼は、25節にありますがように、イスラエルが慰められるのを待ち望んでいました。このことは、イザヤ書40章1節、2節を見ると意味が見えてまいります。イスラエルの救いのことです。

シメオンが預言したことばの重要性は30節以降です。30節、31節、32節をご覧ください。私の目があなたの御救いを見たからです。あなたが万民の前に備えられた救いを。異邦人を照らす啓示の光、御民イスラエルの栄光を。と。シメオンの預言は、幼子イエスは、ユダヤ人だけでなく、異邦人も含めて、すべての人に救いをもたらすという内容でした。マリアが御使いガブリエルから語られたとき、そこまでは語られませんでした(ルカ1・32〜33)。そして、マリアの祈りを見ても、異邦人の救いは語られていません(ルカ1・54〜55)。すなわちマリアの理解、そしてヨセフも同じであったと思われるが、あくまでもユダヤ人の王、ユダヤ人を救うメシアでした。ところが預言者シ

## メオンは、「万民の前に備えられた救い」

「異邦人を照らす啓示の光」と語りました。それが、どれだけユダヤ人の常識を超えたものであったのかは、「使徒の働き」を見れば分かります。弟子たちは、ペンテコステの日に聖霊の満ちしを受けました。分かりませんでした。使徒の働き10章の、異邦人コルネリウスと家の者が救われて、ようやく分かったという、ハードルの高いことでした。そういうわけで、ヨセフとマリアはシメオンのことばを聞いて、ただただ驚くばかりでした。33節です。父と母は、幼子について語られる様々なことに驚いた。と。シメオンのことばはさらに続きます。34節、35節です。シメオンは両親を祝福し、母マリアに言った。「ご覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人が倒れたり立ち上がったたりするために定められ、また、人々の反対にあうしるしとして定められています。あなた自身の心さえも、剣が刺し貫くことになり。それは多くの人の心のうちへの思いが、あらわになるためです。と。人がイエス・キリストと出会うとは、その人が神の前に立たされることです。信じて救われるか、拒否して、自分が神として罪の道を歩み続けるかどうかです。ゆえに母マリア自身も、自らの心に剣が刺し貫かれるような経験をする。と、シメオンは語ったわけです。

## 三、女預言者アンナ

最後に、もうひとりの人を見てまいります。それは、女預言者アンナです。36節、37節です。また、アシエル族のペヌエルの娘で、アンナという女預言者がいた。この人は非常に年をとっていた。処女の時代の後、七年間夫とともに暮らしたが、やもめとなり、八十四歳になつていた。彼女は宮を離れず、断食と祈りをもって、夜も昼も神に仕えていた。と記されています。八十四歳は、当時であつては超超高齢者です。ですが、彼女の意識は衰えていませんでした。アンナもシメオンと同じく、イスラエルの救いを待ち望み、主に仕えていた預言者でした。そして、その手のユダヤ人の一群があつたことを、38節より教えられます。へちやうどそのとき彼女も近寄って来て、神に感謝をささげ、エルサレムの贖いを待ち望んでいたすべての人に、この幼子のことを語った。と。

シメオンとアンナは、共にイスラエルの救いを待ち望みつつ、主に仕える日々を送っていました。ゆえに、聖霊が語ってくださったのです。シメオンには「主のキリストを見るまでは決して死を見ることはない」、アンナには「この幼子こそイスラエルに救いをもたらす器である」と。一人は、異邦人も含めた救いが実現することを知らせるために、神によって備えられた器でした。